【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【公表番号】特表2003-506817(P2003-506817A)
【公表日】平成15年2月18日(2003.2.18)
【出願番号】特願2001-510277(P2001-510277)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｇ　1/02　(2006.01)
Ｈ０１Ｊ　35/00　(2006.01)
Ｈ０１Ｊ　35/16　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｇ　1/02　Ｐ
Ｈ０１Ｊ　35/00　Ａ
Ｈ０１Ｊ　35/16

【手続補正書】
【提出日】平成18年3月23日(2006.3.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】　Ｘ線管であって、
（ａ）　電子源が配置されたカソードハウジングと、
（ｂ）　アノードが配置されたＸ線管ハウジングであって、該アノードは前記電子源により放出された電子を受け取ることができるターゲット表面を有する、前記Ｘ線管ハウジングと、
（ｃ）　前記カソード及び前記アノードの間に位置決めされたシールド構造であって、該シールド構造は該構造内に形成された開口を有し、該開口を通って、電子が前記電子源から前記ターゲット表面まで通過させられる、前記シールド構造と、
（ｄ）　前記シールド構造の近傍に配置された少なくとも１つの流体通路であって、該流体通路は、冷却剤が通過し、これによって前記シールド構造の少なくとも一部分から熱を吸収することを可能にする、前記冷却通路と、
（ｅ）　前記シールド構造に取り付けられた、複数の延長表面であって、該延長表面は、前記少なくとも１つの流体通路を通過した冷却剤と少なくとも部分的に接触し、且つ、前記シールド構造から前記冷却剤まで熱が転移されるように配位されている、前記複数の延長表面と、
を含む、Ｘ線管。